



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月11日

上場会社名 株式会社 ハークスレイ
 コード番号 7561 URL <http://www.hurxley.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東大

(氏名) 青木 達也

(氏名) 佐子 弘和

TEL 06-6376-8088

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	13,756	△10.5	246	41.3	401	24.9	211	193.4
23年3月期第1四半期	15,375	△14.2	174	351.5	321	145.0	72	10.1

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 201百万円 (710.7%) 23年3月期第1四半期 24百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	21.16	—
23年3月期第1四半期	7.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	44,635	15,372	34.1	1,526.25
23年3月期	45,212	15,303	33.6	1,519.87

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 15,240百万円 23年3月期 15,176百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	6.00	—	12.00	18.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	14.00	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,190	△6.0	490	456.7	600	64.7	350	882.0	35.05
通期	56,950	△3.8	1,360	282.0	1,680	128.5	940	56.5	94.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,025,032 株	23年3月期	11,025,032 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,039,637 株	23年3月期	1,039,637 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	9,985,395 株	23年3月期1Q	9,985,400 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響による生産活動、経済活動の停滞に加え、原子力発電所事故に伴う全国的な電力供給問題の対応、セシウムによる土壌汚染等の事後処理の長期化が見込まれ、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが属する「食」の分野におきましても、消費者の節約志向や低価格志向の流れの中、震災を受けての全国的な自粛ムードに加え、「ユッケ」の取扱いにおいて「食の安全」を問われる事態が発生し、大きな社会問題となるなど、消費マインドの減退傾向が一層強まり、依然として厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、持ち帰り弁当事業部門では、食の安全・安心を第一に、多様化する消費者のニーズに対し、きめ細やかなメニューの開発、接客マナーの向上に努めるとともに、新たな販促活動に取り組み、顧客層の拡大と満足度の向上を図ってまいりました。

店舗委託事業部門では、停滞する経済環境の影響により、業務委託先との契約数が前年同四半期に比べ減少いたしました。新規業務委託先の獲得、コスト削減等をはじめ、収益力の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高137億56百万円（対前年同期比10.5%減）、営業利益2億46百万円（対前年同期比41.3%増）、経常利益4億1百万円（対前年同期比24.9%増）、四半期純利益は2億11百万円（対前年同期比193.4%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

① 持ち帰り弁当事業

当社グループは創業時より食の安全、安心を第一に掲げ、衛生管理を徹底しておりますが、外部企業によるチェック機能を追加し、さらなる管理強化を図りました。店舗運営面においては、各地域、地区の消費志向に着目し、その地域にマッチした商品を提供することで、全国の「ほっかほっか亭」各店舗における顧客満足度の向上に取り組んでまいりました。

この結果、持ち帰り弁当事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は63億44百万円（対前年同期比10.1%減）、営業利益は5億20百万円（対前年同期比80.3%増）となりました。

② 店舗委託事業

店舗委託事業は、安定した顧客基盤を有しております。しかしながら、外食業界におきましては、消費者の節約志向が依然強く、低価格化戦略による顧客獲得など厳しい経営状況が続く中で、新規に安定した委託先の獲得に努め、未稼働店舗を減少させ家賃負担の低減を図ってまいりました。

この結果、店舗委託事業における売上高は55億39百万円（対前年同期比12.9%減）、営業損失52百万円（対前年同期は営業損失68百万円）となりました。

③ 店舗管理事業

店舗管理事業においては、不動産市況に一部底打ちの兆しが見られたものの、依然厳しい環境が続いておりますが、当社グループ管理物件につきましては高い入居率を維持することにより、安定した収益を確保することができました。

この結果、店舗管理事業の売上高は1億53百万円（対前年同期比12.9%増）、営業利益は51百万円（対前年同期比13.1%増）となりました。

④ 店舗直営事業

店舗直営事業においては、寿司チェーン店（びっくり寿司）等では食材・衛生面の安全強化を行うとともに、新規顧客開拓、リピーター増加施策を積極的に進めてまいりましたが、不採算店舗の閉鎖、東日本大震災による売上減少要因等もあり、前年同四半期に比べ売上高は減少いたしました。また、店舗運営の効率化を進めてまいりましたが、品質を重視した仕入れを継続しており、営業利益においても売上高減少の影響から、前年同四半期に比べ減少いたしました。

この結果、店舗直営事業における売上高は9億1百万円（対前年同期比26.5%減）、営業損失1億7百万円（対前年同期は営業利益16百万円）となりました。

⑤ その他

店舗総合サービス事業においては、与信管理を中心とした事業に転換しており、前年同四半期に比して減収となりました。フレッシュ・ベーカリー事業においては、春から夏に向けた商品開発に取り組み、デニッシュ生地、フルーツ系の商品を投入するとともに、人気商品「コロネ」を復刻発売し、大変ご好評をいただきました。

なお、当第1四半期連結累計期間より、レストラン事業を主とする「榊ハーツgrantフードサービス」を新たに連結の範囲に含めており、「その他」の区分にレストラン事業を含めております。

以上の結果、その他の事業の売上高は8億17百万円（対前年同期比37.2%増）、営業利益は22百万円（対前年同期比41.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ5億76百万円減少し、446億35百万円となりました。主な要因としましては、現金及び預金の減少2億38百万円、建物及び構築物をはじめとする有形固定資産の減少4億16百万円によるものです。負債は、前連結会計年度末に比べ6億45百万円減少し、292億63百万円となりました。主な要因としましては、未払金の減少5億93百万円によるものです。

少数株主持分を含めた純資産は、前連結会計年度末に比べ69百万円増加し、153億72百万円となりました。

1株当たり純資産は、前連結会計年度末に比べ6.38円増加し1,526.25円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の33.6%から0.5ポイント上昇し、34.1%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結業績は想定した範囲内の実績であり、平成24年3月期通期及び第2四半期累計期間の連結業績予想につきましては、平成23年5月13日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,048,507	5,810,477
受取手形及び売掛金	2,815,217	2,660,658
商品及び製品	655,854	881,651
原材料及び貯蔵品	124,400	142,772
繰延税金資産	149,693	145,234
その他	1,462,349	1,541,130
貸倒引当金	△146,632	△164,284
流動資産合計	11,109,390	11,017,640
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,837,464	9,492,429
機械装置及び運搬具（純額）	90,884	84,843
工具、器具及び備品（純額）	842,433	783,841
土地	12,256,908	12,256,908
リース資産（純額）	168,211	161,517
建設仮勘定	7,000	7,000
有形固定資産合計	23,202,902	22,786,540
無形固定資産		
のれん	338,049	329,451
その他	224,947	221,836
無形固定資産合計	562,997	551,288
投資その他の資産		
投資有価証券	1,781,210	1,755,102
長期貸付金	279,841	380,694
敷金及び保証金	6,643,998	6,455,838
繰延税金資産	99,643	94,796
その他	3,587,557	3,552,170
貸倒引当金	△2,055,235	△1,958,409
投資その他の資産合計	10,337,016	10,280,193
固定資産合計	34,102,915	33,618,022
資産合計	45,212,306	44,635,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,645,294	2,779,895
短期借入金	3,230,600	3,191,700
1年内返済予定の長期借入金	4,166,383	2,223,188
未払金	1,992,182	1,399,117
未払法人税等	437,626	168,688
未払消費税等	155,366	104,587
賞与引当金	162,806	241,814
その他	1,862,262	1,860,604
流動負債合計	14,652,521	11,969,594
固定負債		
社債	162,500	145,000
長期借入金	9,154,182	11,203,917
退職給付引当金	43,287	43,641
負ののれん	1,232,163	1,148,335
長期預り保証金	3,324,427	3,417,434
繰延税金負債	415,736	419,824
資産除去債務	361,353	340,754
その他	562,864	574,538
固定負債合計	15,256,513	17,293,445
負債合計	29,909,035	29,263,040
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,036,649	4,036,649
資本剰余金	3,930,816	3,930,816
利益剰余金	8,714,838	8,794,117
自己株式	△1,515,070	△1,515,070
株主資本合計	15,167,234	15,246,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,230	△6,287
その他の包括利益累計額合計	9,230	△6,287
少数株主持分	126,806	132,396
純資産合計	15,303,271	15,372,622
負債純資産合計	45,212,306	44,635,662

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	15,375,870	13,756,293
売上原価	11,721,810	10,426,159
売上総利益	3,654,060	3,330,134
販売費及び一般管理費	3,479,873	3,083,951
営業利益	174,186	246,182
営業外収益		
受取利息	11,890	8,642
受取配当金	3,650	2,779
受取賃貸料	27,738	44,638
負ののれん償却額	83,827	83,827
業務委託解約益	55,411	122,873
持分法による投資利益	5,573	6,845
その他	110,594	75,579
営業外収益合計	298,686	345,187
営業外費用		
支払利息	71,649	60,647
賃貸費用	19,259	17,904
業務委託解約損	36,660	63,163
その他	23,883	48,360
営業外費用合計	151,453	190,075
経常利益	321,420	401,294
特別利益		
固定資産売却益	14,871	19,675
貸倒引当金戻入額	1,910	—
その他	2,873	—
特別利益合計	19,655	19,675
特別損失		
固定資産除却損	9,748	18,491
店舗撤退損失	—	13,034
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	122,014	—
特別損失合計	131,763	31,526
税金等調整前四半期純利益	209,312	389,443
法人税、住民税及び事業税	189,380	157,131
法人税等調整額	△6,957	15,541
法人税等合計	182,423	172,673
少数株主損益調整前四半期純利益	26,889	216,770
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△45,129	5,460
四半期純利益	72,018	211,309

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	26,889	216,770
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△1,737	△16,209
持分法適用会社に対する持分相当額	△310	820
その他の包括利益合計	△2,047	△15,388
四半期包括利益	24,841	201,381
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	68,174	195,921
少数株主に係る四半期包括利益	△43,333	5,460

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,059,549	6,358,171	135,677	1,226,499	14,779,898
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	113,523	1,062,243	15,831	1,271	1,192,870
計	7,173,073	7,420,414	151,509	1,227,771	15,972,769
セグメント利益又は損失(△)	288,811	△68,695	45,105	16,580	281,801

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額(注) 3
売上高				
(1) 外部顧客に対する売上高	595,971	15,375,870	—	15,375,870
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	756,634	1,949,504	△1,949,504	—
計	1,352,606	17,325,375	△1,949,504	15,375,870
セグメント利益又は損失(△)	37,968	319,769	△145,582	174,186

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、資産管理事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△145,582千円には、セグメント間取引消去△422,121千円、各報告セグメントには配分していない全社費用276,539千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント				
	持ち帰り 弁当事業	店舗委託事業	店舗管理事業	店舗直営事業	計
売上高					
外部顧客に対する売上高	6,344,756	5,539,139	153,216	901,719	12,938,831
セグメント間の内部売上高又は 振替高	152,161	769,931	—	1,871	923,964
計	6,496,917	6,309,070	153,216	903,591	13,862,795
セグメント利益又は損失（△）	520,777	△52,795	51,010	△107,305	411,687

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客に対する売上高	817,462	13,756,293	—	13,756,293
セグメント間の内部売上高又は 振替高	904,231	1,828,195	△1,828,195	—
計	1,721,693	15,584,489	△1,828,195	13,756,293
セグメント利益又は損失（△）	22,310	433,997	△187,815	246,182

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに帰属しない事業セグメントであり、物流事業、フレッシュ・ベーカリー事業、店舗総合サービス事業、レストラン事業を含んでおります。

なお、当第1四半期連結累計期間より、レストラン事業を主とする「㈱ハーツグラントフードサービス」を新たに連結の範囲に含めており、「その他」の区分にレストラン事業を含めております。また、前第2四半期連結累計期間において、資産管理事業を廃止することを決議しております。

2. セグメント利益又は損失（△）の調整額△187,815千円には、セグメント間取引消去205,400千円、各報告セグメントには配分していない全社費用△393,216千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない親会社である当社管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益又は損失（△）は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。